

宇都宮商店街めぐり
第7回

イベントで人の流れを呼び、 新しいステップへ

今回ご紹介するのは、宇都宮の西側、環状線の「雨情陸橋」周辺に位置する「雨情商業会」。野口雨情旧居を囲む商店街です。

鹿沼街道をたどって環状線の「雨情陸橋」をくぐる、あの野口雨情の旧居や歌碑があります。雨情商業会は、その周辺の企業や商店で構成された商店街です。

今では道路が拡張されてしまったので趣が変わりましたが、以前は住宅地の中にある商店街として、まさに「地元密着」の商いをする店舗が多くありました。最盛期は会員も60店舗を超えたといいます。

一昨年、現在の名称に変更しました。以前は「鹿沼街道」という名前を冠していましたが、宇都宮市内にあるのだから「鹿沼」

とつくのはおかしい、せっかく近所に雨情ゆかりのものがあるのだからということ、名称変更となりました。

会長を務める(株)太陽警備保障の高山實社長は「景気がこんなふうですから、一度減った会員数は、なかなか戻りません」と腕を組みます。

「特に私どもは商店ばかりでなく、サービス業や工業も会員ですので、まとまったイベントも行にくい。難しいですね」

「そう言いながらも、会員間のまとまりは良く、互いに声を掛け合っていてがんばっているそうです。その現れが毎年7月の最終土、日曜日に開催している「明保地区夏祭り」です。

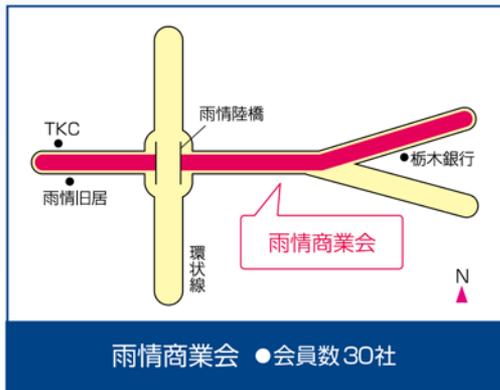
「現在は地域の祭りになっていますが、当初は商店会が行っていたもの。ですから今でも、私どもが力を入れている行事です」

もう20年以上も継続しているお祭りとのこと。それだけに参加人数も多く、昨年は450人以上がお祭りを楽しみました。

「他にも、この地域はイベントが多いんです。自治会と商店会が力を合わせ、盛り上げているんです。夏祭りは、子どもから高齢者まで一緒に楽しんで



【写真上】明保地区夏祭り 【写真下】鹿沼街道沿いに立ち並ぶ商店と企業



雨情商業会 高山實会長

※このコーナーは隔月で掲載します。

